令和３年度チーム伴走型知財経営モデル支援・広報事業 成果報告会
「知財経営で企業を強くする～支援チームとのあゆみ～」開催報告

- 九州経済産業局では、地域の中堅・中小企業10社に対して、知財及び多岐にわたる経営課題に対応できる専門家の支援チームを組成・派遣し、各社４回の伴走支援を実施。
- 成果報告会では、オンラインにて約100名が参加のもと各企業及び支援リーダーにより、伴走支援の成果を報告するとともに、基調講演を通じて、知財経営の重要性を伝えた。

【概要】 令和４年３月２日（水）15:00～17:30　オンライン配信

1．開会挨拶　九州経済産業局長　後藤　雄三

2．講演　　「知財経営の基礎」
　　株式会社シクロ・ハイジア 代表取締役CEO 小林 誠氏

3．事業概要説明　　事務局 有限責任監査法人トーマツ　坂田　道志

4．成果報告　　各企業×リーダー専門家による報告

5．知財総合支援窓口からのコメント　宮崎県知財総合支援窓口　冨山 幸子氏

6．九州における知財関連の支援　九州経済産業局　知的財産室長　榎本　史夫

主催：九州経済産業局、九州知的財産活用推進協議会

九州経済産業局
後藤局長

（株）シクロ・ハイジア
小林氏

宮崎県知財総合支援
窓口　冨山氏

九州経済産業局
榎本室長

４．支援チーム･企業より成果報告

【チームリーダー：
株式会社シクロ･ハイジア 代表取締役CEO 小林 誠　氏】

小林氏　AMI小川氏　トライテック竹﨑氏

❶ AMI株式会社（鹿児島県）
代表取締役CEO　小川 晋平　氏

海外展開　知財戦略

- 米国の医療費を取り巻く背景や医療ニーズを具体例を挙げてもらいながらレクチャーしてもらった。本支援では米国進出に向け、知財戦略だけでなく、課題解決型のビジネスモデルを再考する機会となった。
- 社内メンバーについて、どうしても目先の課題が優先され近視眼的になりがちであるが、本支援ではグローバルな視点で話してもらったこともあり、今後の目指すべき世界観を再認識することができた。

❷株式会社トライテック（大分県）
代表取締役 竹﨑 博　氏

海外展開　知財戦略

- 医療機器を製造販売するための会社としての心構えを（理念ビジョン等）考え直すきっかけをもらった。
- 今までのモノづくりと全く違う事を改めて実感。
使う人（医師）の先に人が居る、命があることを常に考えたものづくりをやらなければならない。支援がなければここまでは絶対に辿り着けなかったと思う。

【チームリーダー：有限責任監査法人トーマツ 近藤 真吾　氏】

❸株式会社アポロジャパン（福岡県）
代表取締役 岸上 郁子　氏

強みの見える化

営業戦略

●紙のもつ特質、学びでの場では、紙と動画、紙と音声の組み合わせのほうが教育現場では受け入れられやすいのではないかといういことを再認識した。

●具体的に面談した大手出版社の方からも弊社のアプリに強い関心を示していただき、直接面談しての営業にすぐに取り掛かれるように営業先のリストアップを最優先すべきと気づいた。

近藤氏　　アポロジャパン岸上氏

事業・知財戦略

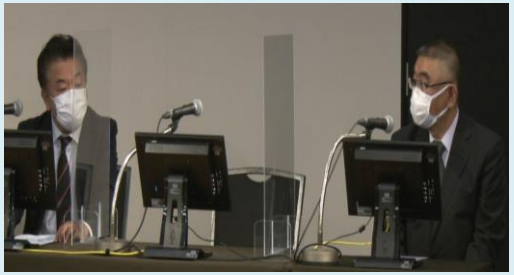
海外展開

❹久保工業株式会社（長崎県）
琴海工場産業機械部 部長 北浦 栄次　氏

●各種機械装置の自動化を目指し、特許および商標登録取得を見据えながら、新しい装置の開発・販売を目指す。

●産業機械部専用のホームページの立ち上げを行う。

●ベトナムを中心に、支店の設立や機械装置の製作、近隣諸国への販売を目指す。



近藤氏　　久保工業北浦氏

【チームリーダー：有限責任監査法人トーマツ 近藤 真吾　氏】

事業・知財戦略

営業秘密

❺水研テック株式会社（宮崎県）
代表取締役 松本 幸三 氏

●知的財産権を守るには、知的財産の侵害を防止する事も重要だと思うが、最も重要なことはその前に知的財産権の内容の精査と整合性を図る事と、権利を守るには一貫した情報漏洩防止対策強化が必要と言う事を学んだ。

●本社と支社とで共有する情報管理方法も去ることながら、従来からの情報管理方式を見直して専門家の力を借りて漏洩防止対策を強化することに加え、社員教育の重要性や社内環境の整備改善に気が付くことができた。

近藤氏　　水研テック松本氏

【チームリーダー：UniBridge 知財事務所 坪内 寛氏】

ブランディング

営業秘密

九建　寺原氏　　坪内氏

❻株式会社九建（宮崎県）
特殊洗浄事業部 SV寺原 憲一郎 氏

●社員間で「強み」「メリット」を出し合い、キャッチフレーズの検討を実施。言語化された中から、3つくらいに絞り込み、それを繋げキャッチフレーズにすることが難しかった。FC募集へのキャッチフレーズも同様に実施し、完成した。

●強みとメリットが明確化（言語化）されたことにより、営業に活かすことができセールストークがレベルアップした。

【チームリーダー：UniBridge 知財事務所 坪内 寛氏】

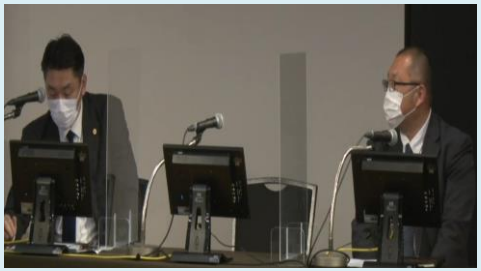
❼株式会社ワン・ステップ（宮崎県）
代表取締役社長 山元 洋幸 氏

新商品開発

人材育成

●知財は今まで自社を守るためのものという認識でしたが、知財を味方にするための具体的なアプローチ方法などを教えてもらい、また、大学などの研究機関に依頼をするときは、自社でどのようにニーズを顕在化し、相談をすべきかについても事例をもとにしながらお聞きできたことは大変有意義だった。

●特許・商標・実用新案などをどのように調べるか、その手法を社内で習得することが出来たため、現在は新商品を開発する際の1つのフローとして、社内で簡易チェックをすることができるようになった。



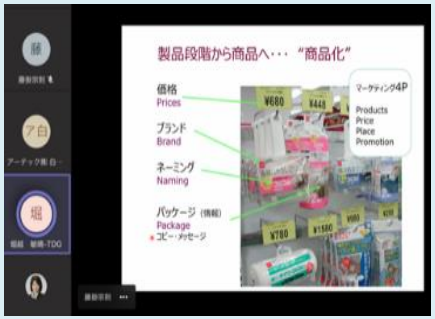
坪内氏　　ワンステップ　山元氏

【チームリーダー：明和綜合特許デザイン事務所 藤掛 宗則氏】

技術ブランド化

用途開発

❽アーテック株式会社（長崎県）
代表取締役 林田 雅博　氏



●長年、当社が携わってきた建築業界における経験と特許技術を先生方に聞いていただき導き出したのがペット業界だった。この建築業界と少しだけ違う異業種マーケットについて、ブランディングの津山先生に深堀りしてもらい、それをもとに堀越先生にはデザインの大切さを教えもらった。そうしてできたブランディングについて藤掛先生に知財戦略をかけてもらい、何よりプロフェッシュナルの３人の先生方に伴走いただいたのは何物にも代えがたい経験となった。

藤掛氏　　アーテック林田氏

【チームリーダー：知的財産綜合事務所NEXPAT　弁理士　羽立幸司　氏】

❾青紫蘇農場株式会社（熊本県）
代表取締役社長 吉川 幸人　氏

製造工程改善

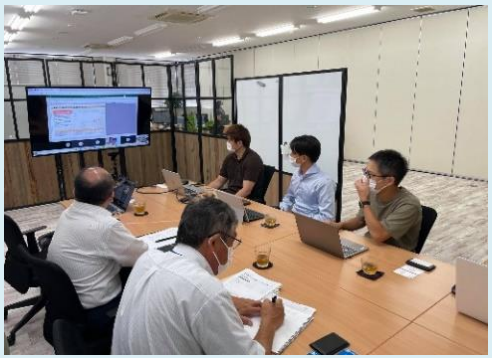
ブランディング

- 今回の支援事業で、2つもの支援が受けられたのは、弊社にとって大変ありがたく、長年の地域資源認定事業での成果の延長がやっと実現し、松山先生のアドバイスもあり商品化に向け大きく前進できた。
- 多くの取引先からの要望に応えることができ、弊社の新たな商品部門のゴールが見えてきた。
- また、デザインについても、単品のデザインでなくトータルデザインにすべきと、自社でも思っていたが、根幹からやるべきとの指摘はありがたかった。

羽立氏　　青紫蘇農場　吉川氏　SUNAO製薬　廣澤氏

❿株式会社SUNAO製薬（宮崎県）
代表取締役 廣澤 直也 氏

海外展開

特許情報活用

- 海外展開に関して多くの学びと気づきがあった。現地の商習慣や費用感、価格設定、法的リスク等、海外展開する上で多くの知っておくべき情報を得ることができた。
- 商標以外の知財には縁遠かったため、特許取得（特許技術開発）のためのヒントが得られるのではないかと思い、知財情報を創造に活かすことに興味を持った。結果、現在ある知財情報を活用して新たなアイデアを生み出す方法を知ることができた。また、商品企画メンバーの知財に対する意識が高まった。